

To Be!

見つける、叶える、なりたい自分。それが東北文教大流。



10th Anniversary

2010年に開学した東北文教大学は、今年10周年を迎えました。今日までの10年間の足跡を5名の方々と共に振り返ります。

of Tohoku Bunkyo College

MEMORY



前学長・子ども教育学科 教授
鬼武 一夫

山形に開かれた大学として
全力で走り続けた10年間。
今後も一層の成長を期待

開学から現在までを振り返ると、とても濃密な10年間でした。開学時の主目的であった小学校教員養成に向け、平成23年には教職実践センターを構想し、阿部建夫先生を中心に組織を具体化。同センターが着実に機能するようになり、現在は小学校教員就職率が全国8位※にランクインするほどの著しい成長を遂げました。他にも国際交流の活性化をはじめ多様な分野で成果をつくり、大学の認知度や存在感を高めることができた実感があります。今後も山形のために何ができるかを考え続け、The locals are the best!の精神で頑張ってくださいね。

※朝日新聞出版大学ランキング 2021 より



MEMORY



子ども教育学科 元准教授
山王堂 恵偉子さん

保育の理論と実践を追求。
プロとしての誇りを持てる
学びをこれからも

保育者を目指す学生たちへの指導や、実習指導教員として実習先との連携強化等にも取り組みました。学生たちの変化を感じたのは開学から4年目くらいからでしょうか。保育を“理論的に学ぶ”ということが意識化され、4年間の学びを経て保育者になる者としての誇りが感じられるようになったのです。卒業した先輩の話や姿を見聞きし、「東北文教大学は社会から期待されている」という実感を持てたことが大きかったと思えます。学生の皆さんには保育のプロとして堂々と社会に羽ばたけるように、たくさんの理論と実践を学んでほしいです。



MEMORY



子ども教育学科 元教授
阿部 建夫さん

教職実践センターの礎を構築。
模索し続けた、学生が主体の
より良い授業のあり方

東北文教大学は、私が昭和45年に教員になって以来取り組んできた算数教育の集大成であり、“研究所”のような存在です。教員を目指す学生たちには「教員とは子どもにとってどんな存在であるべきか」を理解してもらうため、毎年授業のあり方を模索しながら、シラバスの内容についても改善を重ねていきました。東北文教大学の使命は、山形という地域に生きる人材を育てることだと感じます。今後、地方の存在価値はますます高まるものと思います。その時に一層力を発揮できる人材を育成していただくことを願ってやみません。



MEMORY



仙台市立片平丁小学校 教諭
平成25年度 子ども教育学科 卒業
日野 勝さん

1期生として手探りの中
進んだ夢への道のり。
そして深めた多くの絆

東北文教大学の1期生として、子ども教育学科に入学。はじめは手探りながらも夢に向かって学ぶ中、具体的な進路を自覚した時に、自分の人生を振り返り、社会貢献を意識した進路選択を考えるようになりました。東北文教大学は、学びや交流をとおして、仲間・教職員の方々・地域とのたくさんの“絆”をつくってくれました。卒業した今もその絆は変わることはなく、かけがえない宝となっています。これからも伝統を重んじつつ、常に未来の社会を見据えた教育方針によって、さらなる発展を遂げられることを期待しています。



MEMORY



東北文教大学付属幼稚園 教諭
平成25年度 子ども教育学科 卒業
阿部 美里さん

一人ひとりの可能性を
広げてくれる大学
この良さをより沢山の方々へ

ピアノや造形活動など実践に加え、保育の理論に基づき、子どもについて、深く学ぶことができました。教育力向上サークル“ええじゃないか”の立ち上げでは、企画・運営する大変さ、そして楽しさや達成感を味わいました。一人ひとりに寄り添い、可能性を広げてくれるこの大学の良さをたくさんの方に知ってもらい、先生を目指す人が最初に調べたい大学になってほしいと思います。また来年の新学科誕生により、よりさまざまな視点で学びを深められる大学になることを一卒業生としてとても楽しみにしています。

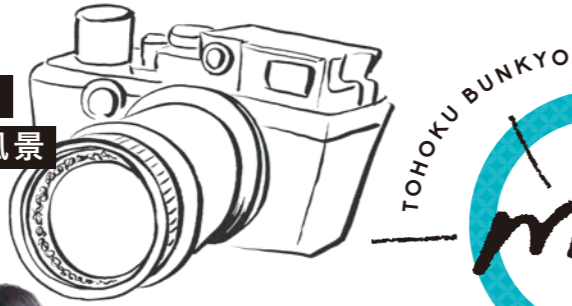


History

- 2010年
東北文教大学開学
人間科学部子ども教育学科設置
山形短期大学は東北文教大学短期大学部に校名変更
内田英子初代学長に就任
- 2012年
教職実践センター設置
- 2013年
1期生の11名が小学校教員採用試験に現役合格
韓国のソウル女子大学と協定を締結
- 2014年
鬼武一夫学長に就任
- 2015年
小学校教員採用試験現役合格率7割達成
- 2016年
東北文教大学ロゴマーク制定
台湾の銘伝大学・景文科技大学・徳明財經科技大学と協定を締結
- 2018年
台湾の国立台湾師範大学国語教学センターと協定を締結
ハワイのハワイ州立大学リーワード・コミュニティカレッジと協定を締結
中国の伊春職業学院と協定を締結
- 2019年
須賀一好学長に就任
ハワイのハワイ州立大学コミュニティカレッジと協定を締結
- 2020年
開学10周年

Future!

豊かな自然、青春の日々…
心に刻んだ大好きなあの風景



出身高校は全員違うけれど、
今では何をしても
一緒に5人組。



かけがえない友達と
同じ目標に向かい奮闘中

介護福祉士という共通の目標を持つ同じ学科の5人組。西蔵王公園は、その5人で遊びに行き、特に仲良くなれたと最初実感できた思い出深い場所です。友達や先生、地域の方々、色んな人たちや新鮮な考え方の出会いの中で、専門的な技術や知識を学べるのが東北文教大学のいいところだと思います。

短期大学部 人間福祉学科 / 2年

佐藤 匠馬さん

山形県立上山明新館高等学校 出身



中庭ではランチや
ピクニックを楽しむ
人たちもいます。

授業や学生の
憩いの場として
大活躍の中庭がお気に入りです

キャンパス内の中庭はお気に入りの場所。1年次の授業ではここで野菜を育てたり、四つ葉のクローバーを探したりしました。保育に関わる知識や技術を実践的に学べるのがこの大学のいいところ。現在は、来年2月に発表予定の「創作オペレッタ」に向け、ジェスチャーゲームなどを通して表現力を磨いています。

短期大学部 子ども学科 / 2年

佐竹 里緒さん

山形県立米沢興譲館高等学校 出身



湯野浜海岸で爽やかな
庄内の夏を満喫しました。



クラスや学科の友人たちとの
充実のキャンパスライフ

同じ学科の友人と遊びに行った湯野浜海岸。普段見慣れない海を前に、晴れ晴れとした気持ちになりリラックスした思い出があります。他にも印象深いのが、5月に参加したスポーツ祭。学科が一つになれた瞬間でした。互いに助け合い、高め合いながらスキルアップできるクラスの雰囲気が入っています。

短期大学部 人間福祉学科 / 2年

奥山 亜美さん

山形県立新庄南高等学校 出身



ここで興味のある本を
読んだり、課題に
取り組んだりしています。



一人でもみんなでも。
存分に学べる空間です。

キャンパス内にある附属図書館。授業中はもちろん、授業外でも友達と絵本を読む練習をしたり、課題についてみんなで意見を出し合ったりとさまざまな活用しています。2年次からの授業では、他の人の意見を聞くことの面白さ、大切さを実感するように。将来は子ども目線で考えられる保育者になりたいです。

人間科学部 子ども教育学科 / 2年

小松 莉奈さん

山形県立酒田西高等学校 出身



豊かな自然に囲まれた東北文教大学。心を癒す景色や
フォトジェニックな風景がキャンパスライフを彩ります。
今回は各学科を代表して8名の学生に、それぞれの
「お気に入りの景色」について教えてもらいました。

階段を降りると
たどりつく隠れ家的
スポットです。



ぼーっとしたい時や
気分転換に
ぴったりな穴場スポット

一人暮らしをしているアパートのすぐ側を流れる須川。その土手に座り、川のせせらぎや自然の風を感じると、とても癒されます。夕方に時間がある時は音楽を聴きながら夕暮れを見に行くことも。この大好きな自然と、大学の充実した学習環境のもとで、小さい頃から憧れている小学校教師を目指し頑張っています。

人間科学部 子ども教育学科 / 2年

佐藤 繭さん

秋田県立湯沢高等学校 出身



普段はこんなに
山を近くに見たことが
なかったので大興奮!



県外から進学して
出会えた大好きな自然と
たくさんの友達

県外から進学し、不安と期待の中で一人暮らしがスタート。探検気分での散歩に出かけた矢先、目に飛び込んできたのは、うっすらと雪をかぶった蔵王山とどこまでも高く広がる青空でした。自然に惹かれて選んだこの大学。恵まれた環境の中、保育士という同じ目標を持つ仲間と充実した学生生活を送っています。

短期大学部 子ども学科 / 1年

菅原 はづきさん

宮城県気仙沼高等学校 出身



341教室からの眺め。
晴天の日は蔵王が
きれいに見渡せます。



元気いっぱい子どもたちと
のどかな風景に癒されます

子どもたちが元気に遊ぶ付属幼稚園とそれを見守るようにそびえ立つ蔵王の山並み。1年次の授業後、ふと窓の外に見えたこの光景が、それから一番のお気に入りになりました。園庭から常に子どもの声が聞こえ、子どもと身近に触れ合える環境が、保育士を目指す気持ちをますます強いものにしてくれます。

短期大学部 子ども学科 / 2年

小林 莉奈さん

山形市立商業高等学校 出身



社会人野球チーム
の一員として練習に
利用しています。



小学校から大好きな野球を
思いっきり楽しめる環境

大学に入ってから完成した「きらやかスタジアム」。高校の同級生に誘われて入った社会人野球チームの練習場所の一つで、新しく広々とした設備が気に入っています。また大学の野球部にも所属。現在は教員採用試験を控えて、なかなか活動に参加できませんが、大好きな野球をまた思いっきり楽しみたいです。

人間科学部 子ども教育学科 / 4年

渡辺 光さん

山形県立寒河江高等学校 出身





子ども学科教授
SAKUMA MICHIO

佐久間 美智雄

学びや経験から得られる
イメージーションを大切に。
子どもの背景にある家族や、
将来を見つめよう

教員プロフィール / 東北文教大学短期大学部 子ども学科 教授、國學院大学卒業、東洋大学大学院博士後期課程単位取得後退学。昭和62年から23年間、青少年福祉センターに勤務。社会福祉学修士。専門分野は児童福祉、社会福祉、精神保健。研究課題に「社会的養護についての研究」がある。

子どもだけでなく、保護者や地域にも及ぶ保育士の関わり

奥山 / 先生が「社会的養護」について研究するようになったきっかけを教えてください。

佐久間 / 私は23年間、社会的養護の現場の一つである「青少年福祉センター」に勤務していました。そこで児童指導員として中高生年齢の児童の自立支援に携わったことが始まりです。社会的養護とは、さまざまな理由により保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子どもを社会全体で養育すると共に、その子どもの家庭も支援していく仕組みのこと。代表的な施設に、18才までを対象とした児童養護施設や出生から概ね3才までの子どもが生活する乳児院がありますが、これらの施設には保育士の配置が義務付けられています。

奥山 / 施設保育士と呼ばれる保育士ですね。保育士の活躍の場は保育所以外にもあることを授業で学びました。

佐久間 / 保育士が関わる対象は、子どもはもちろん、家庭や地域の子育て支援にも及びます。子どもを取り巻く環境の変化に伴い、育児疲労や育児不安など多様な問題が顕在化しており、子育ての社会的支援の必要性が高まっています。同時に保育士の専門性や役割への期待も大きくなっていると言えます。

諸外国の実践例から見える公的機関の早期介入の必要性

奥山 / 近年は諸外国の実践例も研究されていますね。

佐久間 / 特にフィンランドやカナダの子育て支援システムについて調査しています。例えばフィンランドでは妊娠してから子どもが就学するまで、子育て支援に関わる窓口が一本化されています。他にも日本で取り入れたいと思えるような制度やサービスが充実しており、調査から日本でも社会的養護を必要とする子どもの早期発見・保護だけではなく、予防的対

応として早い段階で公的機関の介入の必要性を感じます。

子どもの背景にある家族や将来を想像できる力を養おう

奥山 / 私たち学生には、どんな保育者を目指してほしいと思われませんか?

佐久間 / 例えば目の前にいる子どもと関わる時、その子の1年後や2年後を想像して関わるができるかどうか。その子を通して、背景にある親子のやりとりを想像できるかどうか。決してマニュアル通りの保育ではなく、自分の学んできたことや体験してきたことからイメージーションを膨らませることを大切にしてほしいですね。



NOTICE BOARD

NEWS 自宅でキャンパス体験!
オンラインオープンキャンパス開催中。



ご自宅で学習中の方も、ご自宅が本学から遠くオープンキャンパスに参加できない方も、「少しでも東北文教大学の雰囲気を感じてもらえれば」と5月よりオンラインでのオープンキャンパスをスタートしました。YouTubeを活用した模擬授業やキャンパスツアー、学食のメニューや雰囲気が見れるコンテンツ、在学生に質問ができるコーナー、各学科の資料など多彩な内容となっています。今後も定期的にコンテンツを追加していく予定ですので、詳しくはホームページをご確認ください。

NEWS 受験生のみを対象とした
「キャンパス見学・入試説明会」を開催。



本学では、受験生のみを対象とした「キャンパス見学・入試説明会」を6月より開催しています。「オープンキャンパス時には、たくさんの参加者がいて細かいところまで質問できなかった」「もっとゆっくり大学を見学したかった」「入試について具体的に相談したかった」。そんな受験生の要望にお応えできるイベントとなっています。学生スタッフ・入試広報センターのスタッフがマンツーマンで大学をご案内しますので、本学の特徴である少人数教育をじっくりと体験できます。今後も開催する予定ですので、お気軽にお問い合わせ・お申込みください。

NEWS LINE個別相談会
開催時間を拡大して開催中。



本学では、LINEを使った個別相談会を開催中です。好評につき、6月からは時間を拡大し、祝日を除く毎週月～金曜日の午後4時～午後6時の日程で開催しています。入試広報センターのスタッフが受験生の方・保護者の方を対象に、本学の学部・学科の特色の説明や、入試・進学に関する相談・受付を行っていますので、ぜひご利用ください。参加方法はLINEで「東北文教大学」と友だちになり、トーク画面から質問をお送りください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

NEWS 個人・団体での大学見学を
随時受付中。

2019年大学見学の様子



本学では、オープンキャンパス以外の日でも、個人・団体(学年やクラス単位でも可)での大学見学を随時受け付けています。見学の内容は学科説明・模擬授業・学食体験・キャンパスツアーなど、ご希望に応じて実施いたします。「東北文教大学の雰囲気を自分の目で確かめたい」「東北文教大学のこともっと知りたい」という受験生や保護者の皆さん、ぜひ大学見学へお越しください。詳しくは入試広報センターまで、お気軽にご相談ください。

【入試広報センター】
TEL:023-688-2296 / E-mail:GO@t-bunkyo.ac.jp



ワクワクの想いを貪欲に。

知ること、繋がることで拓けた

「伝える」という仕事

ABE KAORU

阿部 薫さん

キクカク企画代表

子どもの頃の夢は小説家でした。しかし知識も経験もない自分から広がらない物語の世界。そんな時、無限に知識が得られる図書館の素晴らしさを知り、本へと導いてくれる図書館司書になりたいと思ったのが、山形女子短期大学（現東北文教大学短期大学部）を選んだきっかけでした。

短大には「学びたい」「体験したい」にしっかりと向き合ってくれる先生方がいました。本来私には単位が必要のない授業をこっそり受けさせてくれたり、それまでなかった弓道部の立ち上げに力を貸してくれたりと、県が主催する学生交流イベントに参加させてくれたり。おかげで知識の深め方を学び、地元社会人や他大学にかけがえない仲間ができました。

超就職氷河期だった当時、学校図書館司書を目指しながらも、企業への就職も必死に検討していました。そして短大で開催された卒業生の講演に出席。

広告代理店に勤務する女性の活き活きと話す姿に感銘を受け、広報業の魅力に気がきます。卒業後に広告代理店に就職しお客様の「伝えたい」に寄り添い、様々な広報媒体で情報を発信してきました。卒業・転職してからも、山形の歴史や自然環境、民俗学、たくさんの情報を提供してくださった先生方には本当に感謝しています。

自分の中の世界は今でも小さなものですが、ぐると見渡し誰かと繋がれば、どこまでも興味深い世界が広がっていました。そのワクワクを誰かと共感できたなら。私はそんな広報という仕事が大好きです。人生において誰しも結婚や出産・育児などの転機が訪れます。しかし自分の中にあるワクワクする想いを大切にしていれば、きっとやりたいたい仕事への道は拓けるのだと今は実感しています。

私の HISTORY

プロフィール
1980年生まれ。酒田市立酒田中央高等学校出身。2001年山形女子短期大学（現東北文教大学短期大学部）国文科卒業。広告代理店、印刷会社などで経験を積み、フリーランスとなり、広報誌やホームページなどの企画・編集、ナレーションやイベントの司会をしている。

1年次

図書館学に関する情報の活用法や教育に関する基礎知識を学び、学校図書館司書への興味を深める

2年次

短大で開催された、広告代理店に勤める卒業生の講演に出席

ここがターニング Point!

活き活きと話す姿に感銘を受け、自らも同じ道に進みたいと思う

24歳

広告代理店の勤務を経てフリーライターとして独立するも仕事量が少なくアルバイトをしながら模索。翌年には印刷会社に勤務。多様な分野の広報業務に携わる

27歳

第一子出産。家庭と仕事を両立するために、再びフリーランスに。故郷の遊佐町や、現在の活動拠点である米沢の商工会議所青年部で積極的に交流。情報交換をし、繋がりを築く

現在

その人の「伝えたい」想いに寄り添いながら、丁寧言葉を通じている。広報業務に関する仕事の依頼を受け、県内外で活動をしている